

原子力改革監視委員会 新委員チャールズ・カストー氏による オペレーション等に関するレビュー

2024年5月9日
東京電力ホールディングス株式会社

- 日 程：2024年 5月13日（月）～ 17日（金）
- 場 所：東京電力HD 柏崎刈羽原子力発電所
- 概 要：元米国原子力規制委員会（NRC）のチャールズ・カストー委員をチームリーダーとした社内外の専門家によるレビューチームにより、オペレーション（運転員の力量）を中心に、メンテナンス（設備保全）、緊急時対応等についてレビューを実施

【チャールズ・カストー氏の略歴】



- カストー・グループ・コンサルティング（安全・危機管理リーダーシップのコンサルタント）社長（2013年 - 現在）
- 68歳（1955年生まれ）
- アミール・シャカラミ氏の後任として2024年4月から原子力改革監視委員会委員に就任

【職務要約】

- 安全・規制のプロフェッショナルとして45年以上の経歴を持ち、行政、規制、技術、経営の分野において責任ある地位に就任した経験を持つ。
- 元米国原子力規制委員会（NRC）上級幹部職員（Senior Executive Service、1985-2013年）
- NRCでは、ブラウズ・フェリー原子力発電所（アラバマ州）1 - 3号の再稼働監視会委員ほか、原子力発電所建設査察監視長、地方局行政官を歴任。
- 現在、5つの原子力安全諮問委員会（NSRB）にコンサルタントとして従事し、うち、米国サザン・ニュークリアのボーグル原子力発電所3 - 4号、及びアラブ首長国連邦のバラカ原子力発電所1 - 4号において会長を勤める。
- 福島第一原子力事故後、NRCの主幹として、11ヶ月間滞在し、米国からの日本への支援の重要なパイプ役を担務。

TEPCO